

授業科目名・形態	文学の世界 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	花田 富二夫・橋元 志保	実務経験の有無	無	開講期	1～2年前期

### 【授業の主題】

大学生としてふさわしい教養を身につけるために、幅広い分野の文学を学びましょう。前半の古典を花田が、後半の近代文学を橋元が担当します。

最近亡くなったドナルド・キーン氏は松尾芭蕉作の『奥の細道』を日本文学最高作品と評した。そして、およそ10年前、当作品の芭蕉自筆本が発見され、今世紀最大の発見とも言われた。このように現代においても輝きと関心を失わない当作品の魅力とは何なのか。それを一緒に追ってみたい。当作品は単なる紀行文ではなく、芭蕉が心血を注いだ文芸作品でもある。そして、芭蕉俳諧の真髄をも物語っている。皆さんも耳にしたことのある発句をめぐってその魅力を探ってみたい(花田 富二夫)。

ご一緒に、近代文学の世界を旅してみませんか。近代文学の曙とも言える明治時代初期に、日本に帰化した小泉八雲のエッセイや小説、日本で初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成の美しい自然描写にあふれた小説など、様々な文学を読み解きながら、物語の舞台をめぐり旅に出かけてみましょう。また併せて、作家の異文化体験、世界の中の日本文学についても触れていきたいと考えています(橋元 志保)。

### 【到達目標】

- (1) 芭蕉作『奥の細道』の文章を理解することができる。
- (2) 芭蕉の構想と俳諧の魅力に触れ、理解することができる。
- (3) 文学的文章を味読することで、読解力を向上させ、その主題を考察できるようになる。
- (4) 心の糧として文学を楽しみ、文芸批評を理解できるようになる。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 芭蕉の生涯並びに『奥の細道』の構想について(花田担当)
- 第2回 『奥の細道』鑑賞「発端」「旅立ち」(花田担当)
- 第3回 同上「日光」「那須野」(花田担当)
- 第4回 同上「殺生石」「白河の関」(花田担当)
- 第5回 同上「宮城野」「壺の碑」(花田担当)
- 第6回 同上「松島」「瑞巖寺」「平泉」(花田担当)
- 第7回 同上「立石寺」「最上川」(花田担当)
- 第8回 同上「象潟」「越後路」「市振」とまとめ(花田担当)
- 第9回 小泉八雲の見た明治日本の夜明け(橋元担当)
- 第10回 小泉八雲と怪談(橋元担当)
- 第11回 川端康成の生涯と文学(橋元担当)
- 第12回 川端康成の旅と文学(橋元担当)
- 第13回 異文化との出会いー夏目漱石・森 鷗外他ー(橋元担当)
- 第14回 異文化との出会いー芥川龍之介・堀 辰雄他ー(橋元担当)
- 第15回 総括ー世界の中の日本文学ー(橋元担当)

### 【授業実施方法】

秋田キャンパスからのリモート授業による。

### 【授業準備】

配布された資料に目を通しておくこと。また、第9回からはワークシートも配布するので、次回提出すること。

### 【主な関連する科目】

文章表現法等

### 【教科書等】

資料(プリント)を配布します(花田・橋元)。

### 【参考文献】

授業中に紹介します(花田・橋元)。

### 【成績評価方法】

主体的な学びの姿勢(20%)、課題の提出(20%)、試験(60%)の総合評価となります。

### 【学生へのメッセージ】

受け身ではなく、積極的に興味をもって授業に臨んでください。